

米穀法中改正法律案外一件特別委員會會議事速記録第四號

大正十四年三月二十三日(月曜日)午後二時十七分開會

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ是ヨリ開會イタシマス

○男爵田健治郎君 此米穀法ニ付キマシテハ先日來委員會ニ於テ色々質問モアリマシタシ、略、分リマシタガ、愈、今日ハ最早採決ヲナサレル場合ダラウト思ヒマス、其場合ニ當リマシテ當局大臣カラ尙ホ一應ノ御説明ヲ承テ置キタイコトガアリマスノデ、御出席ヲ煩ハシタ次第アリマス、勿論此二月二十三日ノ本會議ニ於キマシテ大臣カラ此提案ノ趣旨ヲ縷々御述ベニナッテ居リマス、是デ大體ハ了ルガ出來ルノデアリマス、併シ委員會デ此段々質問應答ノアリマシタノニ照シテ見マスルト、市價ト云フコトニ付テ色々疑義ガ起タノデアリマス勿論政務次官ヨリ段々説明モセラレマシタ次第デアリマシタガ、是ハ非常ナ大切ナコトデアリマス、ソレ故ニ尙ホ一層御趣旨ノアル所ヲ確メテ置キタイト云フノガ委員各自ノ考デアリマス、元ノ案ハ現法律ハ、即チ米穀ノ需給トナッテ居リマスルガ、此需給ト云フコトハ主トシテ、今迄ノ習慣上ト云フモ宜イ位ナ譯デ、數量ノ調節ニアッタノデアル所ガソレ丈デハドウモマダ事實ノ上ニ於テ十分ニ效ヲ奏シニクイカラ今度市價ト云フ字ヲ明カニ入レ、市價モ調節ノ目的ノ一ツニスル、ト云フ、斯ウ云フ御説明デアルガ、其市價ナルモノニ付テハ或ハ何カ標準デモアッテ、或ハ生産上所謂生産費ト云フヤウナモノノ根據デモアッテ、ソレニ當嵌マルノカ、市價ト云フ意味ガ……ト

云フヤウナ質問モアリマシタガ、サウデハナイ、必シモサウデハナイト云フコトデ色々之ニハ論ガアッタノデアリマス、詰リ疑義ガアッタノデアリマス、所ガ當初主務大臣ヨリ御説明ニナリマシタ趣意ヲ見マスルト云フト、免ニ角此國民ノ主要ナル食糧ノ米ガ或ハ投機者ノ如キ思惑ノ爲ニ、或ハ暴騰シ或ハ暴落スルト云フヤウナ急激ナ變動ノ起ルコトハ、生活ヲ脅カスヤウナ嫌ガアリマスカラ、成ルベクサウ云フコトノナイヤウニスルコトガ目的デアルト云フコトヲ縷々御述ベニナッテ居リマス、サウスルト云フト此法律ノ市價ト云フコトハ、必シモ米ヲ吊上ゲルコトカ或ハ下ゲルコトカ云フコトガ決シテ目的デヤナイ、即チ成ルベク米ト云フモノハ標準ヲ得セシメ、是ハマア國民ノ生活上デハ當然此標準ヲ得ルト云フコトガ一番貴イコトニ相違ナイト思ヒマスガ、其標準ヲ得セシメテ、或ハ暴騰シ或ハ暴落スルト云フヤウナ急激ナ變動ヲ起サヌヤウニスル、ソレガ爲ニ或ハ暴騰ノ虞ガアル時ニハ暴騰ヲシナイヤウニ、色々政府ノ持米ヲ賣ルトカ、或ハ暴落ノ虞ガアル時ニハ、サウ云フコトヲシナイヤウニ幾ラ力買入レルトカ、サウ云フヤウナ即チ成ルベク暴騰暴落ヲ制シテ標準ヲ得セシムルコトノ働キニ依ッテ、又此調節ノ働キニ依ッテ豫防スルノデアルト云フヤウニ解釋ガ出來ルノデアリマスガ、果シテ左様ナ儀デゴザイマセウカ、是ハ頗ル此法律ヲ實施セラル、上ニ付テ肝要ナ點デアラウト存ジマスガ故ニ、尙念ノ爲ニ御尋スル次第デアリマス

○國務大臣(高橋是清君) 全ク唯今田男爵カラ御述ベニナッタ通りデアリマシテ、再ビ私ガ茲ニ當局者ノ趣旨ヲ辯明スル必要ノナイ位ニ十分當局ノ考ヘ通りノコトヲ御述ベニナッテ、御質シニナッテデアリマス、此市價ハ今日加ヘマシタ理由ハ全ク唯今御述ベニナッタ通り、私ガ本會議ニ於テ述ベマシタ通り、決シテ之ニ依ッテ米ガ高過ギルカラ之ヲ廉クシナケレバナラヌトカ、廉イカラ之ヲ吊上ゲナケレバナラヌト云フ、サウ云フ働キヲスル考ハ毛頭ナイノデアリマス、固ヨリ市價ハ矢張り需要供給ノ經濟上ノ原理ニ基イテ自ラ定マルベキ所ニ定マリ、而シテ其經濟上ノ原理ノ働キニ依ッテ定マルベキモノガ、當然ソコニ定マラスシテ其間ニ投機思惑ト云フヤウナモノガ起テ來テ、不自然ニ其市價ノ暴騰暴落ヲ來ス、是ガ一番禍ニナルノデアリマスカラシテ、左様ナ場合ニ於テ此市價ノ、米價ノ標準ヲ成ルベク保持シメ、而シテ米價ニ急激ナル不自然ナル激變ノナイヤウニスル爲ニ、或時ハ出動シテ賣リ、或時ハ出動シテ買フト云フコトニナル、而シテ其賣買ノ目的ハ米ノ値ヲ吊上ゲルコトカ、或ハ高イモノヲ引下ゲルト云フ趣旨ニ非ズシテ、不自然ニ暴落スルモノハ之ヲ抑ヘ、不自然ニ騰貴スルモノハ之ヲ抑ヘル、サウシテ成ルベク米價ノ變動ノ幅ヲ縮メテ、常ニ標準ヲ保持シタイ、是ガ眼目デゴザイマス、左様御承知願ヒタウゴザイマス

○男爵田健治郎君 唯今當局大臣ノ明カナ御答辯ニ依ッテ、御趣旨ノアル所ハ了解イタシマシテゴザイマス

○委員長(荒井賢太郎君) 御質問ハアリマセスカ

〔ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ直チニ討議ニ移ッタラ如何デスカ、御意見ガアリマスレバ御述ベヲ願ヒタイ

○子爵八條隆正君 今回政府ノ御提出ノ米穀法ノ改正案、之ヲ先般來數次ノ委員會デ御説明ヲ承ッタノデアリマスガ、ドウモ十分ニ了解シ兼ねタ所ガアリマシテ、如何ナモノデアラウカト云フコトヲ考ヘテ居タノデアリマス、併ナガラ其後ノ研究ニモ依リ又唯今田男爵ト農商務大臣トノ質問應答ヲ承リマシテ、ソレニ依ッテ今回ノ改正案ノ趣旨ガ十分ニ了解スルコトヲ得タノデアリマス、當初私ガ疑ヲ持ッテ居リマシタノハ、現行法ニ於テ米穀ノ需給ヲ調節スルト云フコトガアレバ、是ハ要スルニ米價ノ調節ヲスル爲デアル、即チ目的ハ米價ノ調節デアッテ、需給ノ調節ナルモノハ是ハ一ツノ手段デアル、サウシタナラバ其目的デアル米價ノ調節ガ隠レテ居ッテ、手段タル需給ノ調節ト云フコトガ現行法ノ法文ニ現ハレテ居ルノダカラシテ、今更市價ト云フ文字ヲ新タニ加ヘルト云フ必要ハナイデハナイカト云フコトガ、私ノ當初ニ於ケル疑デアッタノデアリマス、然ルニ今何フト、此今回ノ改正案ハ、經濟上ノ自然ノ原則ニ依ル所ノ米價ノ騰落ト云フモノヲ強ヒテ人爲ヲ以テ政府ガ或ハ上ゲタリ下ゲタリスルト云フコトデナクシテ、經濟ノ原則ニ依ル所ノ米價ノ變動ニ對シテハ、敢テ干渉スルモノデナイ、唯不自然ナ投機思惑ト云フガ如キ人爲ノ事柄ニ依ッテ、或ハ暴騰シ或ハ暴

落スル時ニ、之ヲ普通ノ經濟の原則ニ依ル所ノ米價ノ程度ニ調節シヤウト云フヤウナ御考デアルトスレバ、其御趣旨ハ宛ニ結構ノヤウニ存ズルノデアリマス、茲ニ於テ米價ノ自然ノ原則ニ依ル所ノ騰落ヲ調節スルニ非ズシテ、人爲的ノ騰落ニ對スル調節策デアルト云フコトニ了解シタノデアリマス、併ナガラ茲ニ恐ルベキコトハ、經濟上ノコトト云フコトハ極メテ敏感デアリマス

ノデ、政府ガ其様ナ目的ヲ以テナサラウトスル調節ニ當リ、出動ヲナサル時ニ當リ、其手段方法ガ宜シキヲ得ヌ時ニハ、折角政府ノ御希望ニナッテナサラウトスル所ノ調節ガ、却ッテ經濟界ヲ攪亂スルト云フヤウナ虞ガナイトモ限ラナイ、ソレハ最も慎重ムベキ事柄デアラウト考ヘルノデアリマス、故ニ政府ガ今回ノ改正ニ依ッテ市價ノ調節ヲナサラウ、實際愈々ナサラウト云フ時ニハ、十分其點ニ付テ慎重ニ注意ヲ願フテ而シテ後實行ナサルヤウニ致サレタイ、爲ニ經濟界ノ攪亂スルト云フヤウナコトノナイヤウニ御願フシタイ、或ハ其方法トシテハ政府御自身ガ十分當局者ガ慎重ニ御研究ナスッテ其上デ御決行ナサルモ宜カラウ、或ハ現在有ル所ノ米穀調節委員會デアリマシタカ、アレノ運用ヲ十分ニ御圓リナッデ、アノ運用委員會ヲ十分發揚サレテ御研究ナサルノモ、是モ一ツノ私ハ方法デアラウト存ジマス、政テ此際ニ運用委員會ノ事ノミ言フ

ノデヤアリマセヌガ、總テノ點ニ於テ慎重ナル御注意ヲ拂ハレムコトヲ希望スルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、茲ニ一ツノ希望ヲ申述ベタイト思ヒマス、其希望ヲ相談イタシマスガ米穀ノ市價ヲ調節スルニ當リ若シ其ノ方法宜シキヲ得サルトキハ、却ッテ市場ヲ攪亂スルノ虞ナシトセズ、依ッテ政府ハ之ガ實行ニ際シ十分慎重ナル注意ヲ取ラレムコトヲ望ムス云フ希望デアリマス、私ノ望ム所ハトウカ委員會ニ於キマシテ委員諸君ノ御賛成ヲ得マシテ、此希望ガ可決セラレムコトヲ希望スルノデゴザイマス、右ノ趣意ヲ申上ダテ本案ニ賛成ヲ致シマス、政府ハドウ云フ風ニ...

○國務大臣(高橋是清君) 八條子爵ノ御希望ノ點ハ、誠ニ御尤ナ次第デアリ、當局ト致シマシテハ我々唯今ノ御希望ノ點ニ付キマシテハ、常ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒマシテ、此法律ノ運用ニ於テ經濟界ノ攪亂等ヲ生ジナイヤウニ、其趣旨ヲ誤ラヌヤウニ、常ニ深甚ノ注意ヲ拂ッテ御希望ニ副フコトニ致シマセウ

○男爵田健治郎君 八條子爵ノ御希望ハ御尤ト存ジマスガ、又當局大臣モ之ニ付テ十分ノ注意ヲ拂フト云フ御意見ノヤウデアリマスカラ、今ノ通りノコトデ原案ヲ可決セラレテ然ル可キト存ジマス

○侯爵大隈信常君 私モ田男爵ト同様デアリマス

○男爵中島久万吉君 賛成

○佐藤友右衛門君 今ノ希望條件ヲ附シマシテ、原案ニ賛成イタシマス

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ採決イタシマス、唯今八條子爵カラ御提出ニナリマシタ、希望條件ヲ付ケテ原案ヲ賛成スルト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハサウ致シマス、モウ一ツノ案ノ方ノ特別會計ノ方モ御異存アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(荒井賢太郎君) ソレデハ兩案トモ是デ可決イタシマシタ、散會イタシマス

午後二時三十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 荒井賢太郎君

副委員長 男爵中島久萬吉君

委員

侯爵大隈 信常君

山脇 玄君

子爵八條 隆正君

男爵田 健治郎君

男爵平野 長祥君

佐藤友右衛門君

國務大臣

農商務大臣 高橋 是清君

政府委員

農商務政務次官 三土 忠造君